

海溝型地震の長期評価を踏まえた防災対策の充実・強化

平成 13 年 11 月 28 日

宮城県沖地震（平成 12 年 11 月公表）

地震の規模：単独の場合 M7.5 前後、連動した場合 M8.0 前後
 今後 30 年間に発生する確率：98%

宮城県	長期評価の内容を参考に、平成 14 年度から被害想定を見直し予定
仙台市	長期評価の内容を参考に、平成 13 年度から被害想定を見直し中。 また、長期評価の公表を契機に、対策が急務となる課題等の抽出、整理などを行うため、平成 13 年 7 月に「宮城県沖地震災害対応プロジェクト」（消防局）を立ち上げ、防災対策を推進
気仙沼市	長期評価の公表を契機に、インターネットを使って津波情報を提供する、津波防災システム「TIMING」を東北大学と共同で構築

南海トラフの地震〔南海地震、東南海地震〕（平成 13 年 9 月公表）

地震の規模：(個別に発生した場合)南海地震 M8.4 前後、東南海地震 M8.1 前後
 (同時に発生した場合)M8.5 前後
 今後 30 年間に発生する確率：南海地震 40%程度、東南海地震 50%程度

関係地方公共団体	関係府県が情報収集、意見交換等を行い、地震対策の広域的かつ円滑な推進を図るため、消防庁の呼びかけにより、平成 13 年 11 月に「東南海・南海地震に関する府県連絡会」を設立
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------

なお、国の中央防災会議においても、平成 13 年 6 月に設置が決定された「東南海・南海地震等に関する専門調査会」において、長期評価の結果も参考に、今後の防災対策のあり方について検討中